

サイエンスカフェの概要について（事後報告）

1. 開催日時：平成 30 年 2 月 9 日（金） 18 時 30 分～20 時 00 分
2. 開催場所：三省堂書店札幌店 BOOKS & CAFE (UCC)
(札幌市中央区 北五条西 2-5JR タワー札幌ステラプレイス 5F)
3. 関係団体等：三省堂書店札幌店、北海道大学高等教育推進機構オープンエデュケーションセンター科学技術コミュニケーション教育研究部門 (CoSTEP)、日本学術会議北海道地区会議
4. 役割
司会：川本思心（北海道大学理学研究院／CoSTEP 准教授）
講師：實金清博（北海道大学医学研究院 教授）
5. 概要：
題目：「先端医療はどこへ向かうのか ～センスオブワンダーとセンスオブエシックスを問う～」
概要：まず 45 分間、講師が、脳・精神への介入、遺伝子への介入を可能にした先端医療の現状だけではなく、優生学や保安処分など過去に様々な問題も引き起こした事例についても紹介した。その後、10 分間の休憩時間で、来場者に質問を書いて頂いた。後半 25 分はその質問をもとに、講師と来場者が質疑・対話を行った。社会や将来世代に大きな不可逆的変化が起こるのではないか、そのような介入の方向は、経済的、思想的背景により一方向へ向かってしまうのではないか、「病気」は本当にすべて治すべきものなのか、一方で目の前の患者さんをどうするのか、できることはすべきではないのか、といった先端医療の二面性について議論し、サイエンスカフェは盛況のうちに終了した。
6. 参加人数：
講演者等：7 名（講師 1 名、司会 1 名、会場支援 4 名、動画撮影 1 名）
※その他給仕スタッフあり
その他の参加者：30 名
内訳：10 代 2 名、20 代 6 名、30 代 5 名、40 代 4 名、50 代 5 名、60 代 8 名
最多層は 20 代女性 5 名
7. 特記事項：
北海道医療新聞（週刊専門紙）の取材を受けた。2018 年 2 月 15 日に記事掲載（予定）。